

すいた創政会通信

みんなで創ろう
元気な吹田!!

吹田市議会議員

ば ば
馬場けいじろう (無所属)



連絡先

〒564-0041 吹田市泉町5-3-5 TEL 06-6389-8555 FAX 06-6389-8558
E-mail babakeijiro@gmail.com URL http://www.baba-keijiro.com

子どもの遊び場の整備について

馬場 子ども子育て支援事業計画を策定するにあたり、2013年に実施した市民アンケートにおいて、子どもの遊び場について感じることをたずねたところ、「雨の日の遊び場がない」との意見が最も大きかった(右下グラフ参照)。10月の決算常任委員会において、この声にどう対応したか尋ねたところ、雨の日の遊び場に特化した施策は検討していないが、総合的に子育てサービスを充実させていきたいとの答弁だった。

具体的に、雨の日の遊び場になりうる施設・サービスとして市が認識しているものを示してほしい。

児童 児童会館・児童センターや子育て広場、のびのび子育てプラザは天候に関わらずいつでも利用していただける施設である。

馬場 それらの中で、アンケートの実施以降に拡充されたものは高野台ののびのびルームの新設くらいで、表出された問題点にはほとんど対応できていない。行政の不作为とならぬよう、数点提案したい。

児童館など児童福祉施設を拡充せよ

馬場 児童館については、こちらも決算常任委員会で指摘したが、地域的に利用頻度に差が生じている。そこはどのように埋めていくのか。

児童 児童会館・児童センターの小学校別の利用状況については、立地場所によって偏りが生じていると認識しているが、児童の遊び場の確保は他の事業とあわせて総合的に考えていきたい。

馬場 高齢者いこいの間は各小学校区に設置しているわけで、子どものためのスペースを設置することも十分可能である。ぜひご検討してほしい。

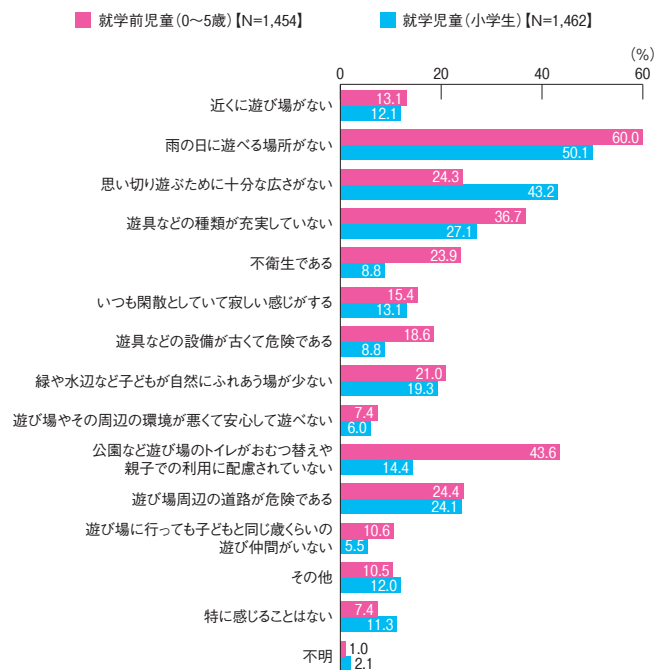
太陽の広場の運営について

馬場 太陽の広場(*)は就学児にとって重要な遊びの場となっているが、各校によって開催頻度に差があり、これも公平性を担保できていない。

新宿区では同じように「放課後子ども広場」を各校で実施しているが、運営を公益財団法人に任せることで平日毎日の開催を実現している。そして、地域の皆様にも学びや遊びの支援者として加わっていただくことで、地域の連携強化にも寄与している。

本市の太陽の広場を拡充する手法として参考にするべきではないか。

地教 現状は各中学校区に設置されている地域教育協議会に委託し、36小学校での実施を進めているが、地域の実情に合わせて実施しているため開催回数や運営方法に違いがある。地域のボランティアの方々のご理解とご協力を得ながら、新宿区の事例も参考に、安心安全な放課後の居場所の充実に努めたい。



子どもの遊び場について日ごろ感じること

*太陽の広場…地域ボランティアの協力のもと、平日の放課後などに、小学校の施設を活用して子どもたちに居場所を提供する事業

駅前施設に子どもの遊び場を

馬場 明石市では、明石駅前再開発に伴い誕生した複合施設「ハピオスあかし」の中に子育てに特化したフロア「あかしこども広場」を設置。親子交流スペースには、世界的な玩具メーカーであるポーネルド社の大型遊具を多数設置した屋内体験型広場を整備した。

天王寺公園に民間資本の活用でオープンした「てんしば広場」にはポーネルド社が運営する、室内と屋外の遊び場を組み合わせた施設が整備されている。

京阪電車・枚方駅前の近鉄百貨店跡地に誕生した複合商業施設「枚方T-SITE」の中にも子育てに特化したフロアがあり、子ども向けの絵本や図鑑、子ども服の販売スペースの一角に、子ども用の遊びの広場が設置されている。

本市においても南千里駅前、千里山駅前、健都など大きな開発事業がここ数年行われたが、どこにもそのような施設はなく、子どもの遊び場の視点が決定的に欠けているように感じる。今後予定される北千里駅前の再開発などにおいて導入を検討すべきではないか。

都計 これまでの開発事業においては、公共空間の確保に向けた視点が主であり、子どもに視点を置いた遊び空間などへの配慮は不足していると聞いている。

北千里駅前においては2016年に「北千里駅周辺活性化ビジョン」策定し、再整備に向けた取り組みを進めているが、めざすべき姿として「子育てファミリー層をはじめとする若い世代が魅力を感じる地区センター」との方向性を示しており、子どもの遊び場についても関係者との協議の中で研究していきたい。

公園の除草回数を増やせないか

馬場 現在、市が管理する公園では年2回の除草しか行われていない。千里南公園でも屋外ステージの周辺などは雑草が荒れ放題でイベント開催もできない。たとえお洒落なパークカフェができて、利用者は増えないのではないかと。

公園や遊園は小規模保育所の園児が外遊びに使うことにもなっているが、夏場には50センチメートルほどまで雑草が伸びていて園児が遊べなくなっている公園もある。除草の回数を増やすべきではないか。

土木 千里南公園に限らず、除草に関する要望や苦情の件数を勘案すると、良好な公園利用のためには2回以上が必要と考えている。

馬場 予算の確保が難しいとは聞いているが、2016年度に除草を行った公園など約176万平方メートルのうち、除草の頻度を増やすべきと認識している面積はどれくらいか。また、それを実施するのにかかる費用はいくらと見込んでいますか。

土木 公園を良好に維持するためには、単に除草回数を増やすだけでなく、公園ごとの利用実態を把握し、適切な維持管理水準を定める必要があり、8月に実施

した市民アンケートを踏まえ検討していきたい。そのため、具体的な面積や費用は現状では示すことができない。

民間委託による公園のセンスアップ

馬場 天理市では、近鉄ならびにJRの天理駅前に古墳をモチーフにした広場を整備。子どもの遊び場、市民の交流の拠点としても利用されている。

佐賀市では商店街にできた300平方メートルほどの空き地を芝生化し、コンテナをならべ、子どもが遊べる賑わいスペースを整備した。

先にも触れた天王寺公園のてんしば広場は飲食店やドックラン、フットサルコート、芝生広場など誰もが楽しめる空間となっている。

これらに共通するのは民間活用である。資本面での効果のみならず、地元の建築家やデザイナーを中心に市民参加で企画設計を行うことで、市民が期待する公園をつくることができる。

本市の公園みどり室は人員が不足していると聞く。維持管理に手一杯なのであれば、都市公園の再生担当として民間人を登用する、また公園全体の管理そのものを民間企業などに委託することなども考えられる。

市長 維持管理レベルを保つとともに、柔軟な活用方策に取り組む必要性を感じている。行政以外の担い手による公園管理、公園運営、いわゆるパークマネージャーによる魅力あるマネジメントのあり方を研究、検討している。



にぎわいづくりの拠点・天理駅前広場コフフン

公共施設の整備について

馬場 持続可能な施設運営を目指し策定された「吹田市公共施設最適化計画」がまさに進行しており、複合化も視野に個別施設の方向性が検討されている。その際に施設利用者や地域住民の声を拾うことが大切だと従来から具申してきたが、いつごろ、どのように実施する予定か。

資産 学校や公民館などの一般建築物について、個別の施設計画の策定に向けて作業を進めている。今後、その素案を示せる段階になったら、適切な方法を検討したい。

馬場 行政側が素案を作成してからだと、市民の意向

が反映されづらいのではないかと。事前に意見を伺い、一緒に素案を作り上げていく方が好ましいのではないかと。

資産 各施設の所管部局などで構成された作業部会を活用し、市民ニーズや地域特性などの情報収集に努めている。

小学校への施設の集約化を進めよ

馬場 施設の複合化、集約化については、小学校等の建替えの際に検討するという点で間違いはないかと。

資産 小学校、中学校は各地域に配置され、一定の規模を備えているため、最適化を進めていく上での拠点施設と位置付けている。小学校等において、余剰床がある場合や建て替えを行う際、施設の老朽化などの状況を踏まえ、市民サービスの向上や維持管理費の縮減など効率化の面で相乗効果が発揮できる組み合わせを検討していく。

馬場 小学校等に集約することのメリットはどこにあると認識しているのか。

資産 文部科学省において、学校施設とほかの公共施設が併設されている特徴を生かし、児童生徒と地域住民との交流を深めることができると示されている。

馬場 地域コミュニティのさらなる活性化が期待されるわけで、早期の施設複合化が望まれる。小学校においては施設の長寿命化のための大規模改修工事が実施されているが、建替えは何年後に着手し始めることになるのか。

資産 2020年に策定予定の個別施設計画の中で方向性を検討したい。

馬場 建て替えを待てばいつになるかわからない。現校舎において集約化が可能か検討する必要がある。現在の各小学校における空き教室の状況を示してほしい。授業には使用せず、地域自治会の備品倉庫などの目的外使用に提供している小学校はあるか。

資産 備品や資料などの倉庫に6校、その他の留守家庭育成室などに22校となっている。

馬場 電気・水道が通っているのに、倉庫に使用するのは施設マネジメントの観点からは無駄が多いと言える。倉庫であればコンテナで十分であり、コミュニティスペースなど別の活用方法を模索すべきである。

公民館と児童施設の複合化

馬場 公民館の複合化については、高齢者いこいの間との併設の事例が多いわけだが、片山地区公民館は高齢者いこいの間とともに、朝日が丘児童センターも複

合化されている。3館合同の文化祭が開催されるなど、年代・世代を超えて地域住民が集い交流する素晴らしい事例だと認識している。この複合施設を市としてはどのように評価しているか。

地教 普段から、子どもから高齢者まで多世代の市民が交流できる場となっていることから、非常に好ましい事例であると認識している。

馬場 山手地区公民館や南吹田公民館の新築の際、児童福祉施設や子育て支援施設を併設しようという声は出なかったのか。

地教 山手地区公民館については、朝日が丘児童センターが片山小学校区とともに山手小学校区の児童を主な対象としているため、併設に至らなかった。

また、南吹田地区公民館については、開発事業者より寄付を受けた公民館用地が、複合化するには狭かったため公民館単独での建設となった。

ノラ猫による被害の防止について

馬場 ノラ猫に対する、近隣住民への配慮のない方法での餌やりについては、公道であれば市としても注意できるが、民有地であれば大阪府の動物愛護センターが担当となるが、それでも餌やりを規制する法令がないため、単発的な注意しかできず、抜本的な解決策がないのが現状である。

茨木市は「茨木市生活環境の保全に関する条例」において、飼養者不明の動物への給餌により、フン害を発生させる等良好な生活環境を損なってはならないと定め、京都市も「動物との共生にむけたマナーに関する条例」において所有者のいない動物への不適切な給餌を禁止している。

箕面市は「カラスによる被害の防止および生活環境を守る条例」において、犬や猫の餌を放置すればカラスが繁殖するとの観点から無秩序な餌やりを禁止している。

本市においても、市民を指導する根拠となる条例制定は可能であり、検討すべきではないかと。

環境 餌やりについては、動物愛護の立場やそれに反対する立場など、考え方によって認識に隔たりがあり、その是非について賛否両論が存在する。

条例施行による効果を茨木市に確認したところ、市の指導により一旦は餌やりを止めるが、後日再開するなど苦慮されているそうである。

条例制定がかならずしも有効な手段とは限らないため、機会あるごとに啓発活動に努め、餌やりマナーについて理解を深めていきたい。

地域ネコ活動の推進

馬場 大阪市は所有者不明猫適正管理推進事業を実施

している。自治会等がネコの避妊・去勢手術を申し込んだ場合は5,000円のみで行えるようにするもので、2014年、2015年の調査では実施地域の7～8割で糞尿や鳴き声など生活環境への被害が減少したそうである。

本市でもガイドラインを作成し、地域ネコ活動を推奨しているが、しっかりと制度化することが必要である。モデル実施について検討してはどうか。

環境 本市の「猫の飼養ガイドライン」は、人と猫との共生に対する社会的理解を深め、ともに健康で安全に暮らしていける環境づくりを目的として作成されており、地域ネコ活動については、活動団体などの役割や地域の合意形成、猫の適切な管理が必須であることから、注意事項を示している。

まずは、ガイドラインに基づいた活動を浸透させた上で、モデル実施についても検討したい。

馬場 本市でもネコの避妊・去勢手術に私財を投げうって取り組んでいる団体がある。その方々は無秩序な餌やりをする人に注意をして、トラブルになることがよくあるため、対応しやすくするために、行政の後ろ盾がほしいとのこと。行政と協働し地域ネコ活動に取り組む団体を公認する制度を創設してはどうか。

環境 「猫の飼養ガイドライン」に基づいた活動の浸透に努め、その中で公認制度についても検討する。

中核市移行による動物愛護行政の取り組み

馬場 中核市になれば、様々な観点から動物愛護に取り組みやすくなる。市民の意識向上のため、動物愛護推進委員の活躍が欠かせないが、その委嘱も吹田市として行うことができるようになる。また、職員として配属する獣医師を活用した対策も可能となる。

下関市では、獣医師職員が各小学校を訪問。責任ある飼い方をしなければかわいいペットが殺処分されてしまいかねないことなど「いのちの教育」を行っている。豊田市では地域ネコ活動支援事業において、獣医師職員自らが避妊・去勢手術を行っている。

中核市の移行に関して、動物愛護の観点での検討状況について示してほしい。

環境 中核市移行の伴う動物愛護行政のあり方については、動物愛護センターの設置を含め、先行市の取り組み状況を踏まえ、関係部局と検討していく。

動物愛護のための基金創設

馬場 避妊・去勢手術の費用軽減のため、ふるさと納税を活用している自治体もある。大阪市は動物愛護関連事業寄付金を創設、2015年度で約110万円。尼崎市は2014年度1,300万円、15、16年度も600万円前後の寄付を受けている。枚方市もこの9月から動物愛護基金を設立し寄付を受付けはじめている。

本市でも避妊・去勢手術のための財源は不足しており、設定件数以上の申請が毎年寄せられ、対応できて

いない状況である。返礼品目当てでない、理念型のふるさと納税として、ぜひ取り組むべきである。

環境 ネコの避妊・去勢手術補助金事業については、2016年度に飼い猫に対する補助をノラ猫の半額へと、改正したところである。その効果を見極めながら、基金創設など、よりよい制度設計について検討していく。

決算常任委員会の審査より

訪問型の病児保育について

馬場 病児・病後児保育について市民からのニーズが高いにも関わらず、子ども子育て支援事業計画における目標である5か所の整備もまだ完了していない。また、たとえ5か所整備できたとしても利用者から見れば使い勝手が悪いことは明らかである。

訪問型病児・病後児保育サービスへの利用補助なども検討すべきである。



児童 訪問型では保育場所が当該児童の居宅となり、健康管理医師が設備の状況を把握できないなど、安全性の観点から課題があり、導入は考えていない。

馬場 介護サービスの場合は施設型だけでなく、訪問型にも補助金を出しており、安全性は理由にならない。大阪市や西宮市など、信頼できる事業者に委託して実施している先進事例がある。しっかり検討してほしい。

児童 = 児童部長 **地教** = 地域教育部長
都計 = 都市計画部長 **土木** = 土木部長
資産 = 資産経営担当理事 **環境** = 環境部長

2月定例会は2月22日から3月26日まで開催予定

⇒すいた創政会通信Vol.12は4月中旬に発行予定です。

馬場けいじろうプロフィール

昭和52年9月28日生まれ
西吹田幼稚園、吹田第二小、吹田第六中、東大寺学園高校、早稲田大学政治経済学部卒
平成27年4月 吹田市議会議員 初当選
〈議会での役職〉
健康福祉常任委員会副委員長、広報委員会委員、総合計画検討特別委員会委員、環境審議会委員